

# 北海道サッカー協会 審判トレセン 道北ブロックアカデミー ② 活 動 報 告

〈日 時〉令和元年8月2日（金）～8月4日（日）

〈場 所〉士別市天塩川サッカー場、士別市スポーツ研修所

〈参加者〉インストラクター 7名、道北ブロック アカデミー生 2名、  
士別翔雲高等学校サッカー部、名寄高等学校サッカー部、旭川南高等学校女子サッカー部

アカデミー生2名を含め、道北ブロックに在籍するユース審判員を育成していく研修会を2泊3日で行いました。ユース審判員として活動している方や、初めて審判をされる方などもありましたが、「第30回 サフォークランド士別カップ 少年サッカー大会」を成功させるために、審判員として活動しました。

〈タイムスケジュール〉

8月2日（金）	8月3日（土）	8月4日（日）
13:00 INS集合	8:00 集合	7:30 集合
14:30 審判員集合	9:00 開会式	
15:00 開講式・全体会	10:00 第1試合 キックオフ	9:00 第1試合 キックオフ
15:30 プラクティカル ・タッチジャッジ ・オフサイド	※24チームによる予選リーグ、 順位決定トーナメント（1回戦） を担当	※順位決定トーナメントを担当 ・試合終了後、振り返り
17:00 プラクティカル 終了	・試合終了後、振り返り	
18:00 夕食	16:30 大会1日目 終了	15:00 大会2日目 終了
19:00 講義①（氏家INS）	18:00 夕食	※大会振り返り、閉講式
20:00 終了	19:00 講義②（砂川INS）	
	20:00 終了	16:00 解散

## 【研修会を終えて（感想：アカデミー生）】

士別市で行われた第2回道北ブロックアカデミーに参加しました。今回の研修会では、旭川南高校女子サッカー部、名寄高校サッカー部、士別翔雲高校サッカー部とアカデミー生合わせて約30名で行われました。

1日目はタッチジャッジやオフサイドなどのプラクティカルトレーニングを行いました。アカデミー生として、積極的にコミュニケーションをとって自分の知識を伝えること、また、シグナルを自信もって行うことを意識してトレーニングに励みました。

2日目・3日目では、サフォークランド士別少年サッカー大会に参加させていただき、実際に審判員として担当しました。しっかり走り、できるだけ近くで判定できるよう努めました。自分では近くのもりでも「もっと走れる」とアドバイスをさせていただき、自らの甘さを痛感しました。3日目には決勝戦が行われ、私は主審を務めさせていただきました。審判団がアナウンスされる試合は初めてで、非常に緊張しましたが、自信をもち、楽しみながら審判員としての活動することができました。

今回の研修会で1番感じたことは、自ら考え、行動することの重要性です。黙っていても良い学びはできないと強く感じました。今後は、自分の考えを積極的に伝え、コミュニケーションをもっととっていきたいと思いました。



今回の研修は初めて旭川ではない所での研修だったので、とても緊張していました。

1日目にはプラティカルトレーニングをし、改めて、オフサイドがある・ない、あった場合のフラッグアップのタイミングなどを再確認することができました。夜の研修では、南高生と一緒にアイズプレイクをし、自分も持っている情報を共有して、答えを出すという審判活動をしていく部分で必要な力があったので、協力しながら楽しくできたと思います。

2日目には、フィールドインスペクションをし、試合に臨みました。インストラクターから「7メートル以上離されないように審判を下さい」と言われて、意識しながらポジションニングを考えて動きました。8人制を3人でやるという難しい部分もありましたが、事前に打ち合わせをして、うまくいく部分うまくいかない部分があり、課題が見つけれられる1日目になりました。夜の研修ではハンドについて映像を見て、ハンドなのかそれともハンドではないのか、なぜその判断なのかを考えて、競技規則に照らし合わせながら確認することができました。

3日目には、前の日に出た課題を改善することを意識しながらできました。またトーナメントだったので、PK戦の手順を確認し問題なく終わることができました。

士別翔雲高校、名寄高校、旭川南高校、ならびにインストラクターの皆様のおかげで、私たちアカデミー生の研修がとてもよいものとなりました。ありがとうございました。



今回の研修会では、いつもとちがう環境の中での活動とり、審判員としてのたくさんの“気づき”を感じることができたと思います。同じ世代の仲間と審判をする、初めてお会いしたインストラクターの方に指導していただき、多くの観客の前で試合を担当するなど、新しい経験ができたはずです。今後も、審判活動を通して、サッカーの魅力を伝えていき、悔いのないチャレンジを続けることで、自分のめざす姿をせまってほしいと思います。満足することなく、前進するのみ！今後の活躍を期待しています。